農薬散布や測量に活用拡大

県産業ドローン協会設立

恵那市

スクール、建設、販売の3社連携

県産業ドローン協会（恵那市上矢作町）は6日、同市明智町の市恵南商工会で設立記念式典を開き、関係者らが産業分野での小型無人機ドローンの活用拡大を図ることにした。（三輪真大）

ドローンのデモ飛行を披露する石田宏樹代表理事（中央）ら＝恵那市明智町、恵那南高校

ドローンスクールを運営するROBOZ（ロボッツ、同市上矢作町）、安田建設（白川町）、農業用ドローンの販売を手掛けるアミーズ（中津川市福岡）の3社が10月、協会を設立し、農薬散布や測量などで活用する。産業に特化したドローンの協会設立は国内でも珍しいという。

式典では、石田宏樹代表理事が「ドローンは国際的に普及が進む一方で、国内は遅れている。関連法令の知識を豊富に持ち、技術にたけたパイロットをどんどん増やしていきたい」と語った。

この後、町内の恵那南高校グラウンドで産業用ドローンのデモ飛行が行われ、赤外線や高倍率ズームのカメラ搭載機種や測量用ドローン、時速100キロを超えるマイクロドローンが披露された。

無断複製・転載を禁じます